

令和 2 年度 森林づくり推進支援金事業総括書

市町村 名	大桑村
----------	-----

No.	事業項目	事業名
1	「森林を支える豊かな地域づくり」に関する事業	令和 2 年度森林づくり推進支援金事業（森林公園遊歩道 周辺林整備）
事業費 715,000 円（うち支援金：660,000 円）		

事業目的

(別記様式第 1 号附表の「個別事業実績」から転記) (1) 地域の森林・林業の現状と課題 のぞきど森林公園内には遊歩道が整備されているが、遊歩道沿いの林内に未生の広葉樹が多くあり、林内が暗く見通しも悪い。獣が散策者に近づいてしまう可能性も思慮される状況。 (2) 本事業の目的 林床整理伐を実施。遊歩道から見える林内の見通しを良くし、獣が散策者に近づく可能性を減らすとともに、散策者がさわやかな気持ちで歩ける環境づくりを行う。

事業内容

(別記様式第 1 号附表の「個別事業実績」から転記) (1) 実施場所 大桑村大字長野 (2) 対象者 地権者 1 名 住民及び公園利用者 4,000 人 (3) 実施方法 林床整理伐及び遊歩道修繕 (4) 事業目標及び当年度事業量 ①全体計画 林床整理伐 1.92ha ②令和 2 年度実績 林床整理伐 0.40ha
--



事業効果

(別記様式第1号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 事業実施の効果

遊歩道の周辺の見通しがよくなり、又丸太階段を設置したことで、歩きやすくなった。

(2) 継続性

未生の立木の多くがなくなったことで、今後の維持管理（笹の下刈り等）に入りやすい環境が整った。

(3) 普及性

のぞきど森林公園の来園者が気付きづらい状態になっていた遊歩道が見えるようになったことで、散策への利用者の増加が見込まれる。

(実施結果を踏まえた自己評価と今後の取組方向について具体的に記載)

(1) 目標に対する成果の状況

見通しが良くなり、林内の暗さによる圧迫感が解消された。又、林内が明るいことから、獣が不用意に近づく危険性も減少すると考えられる。

(2) 課題

今後の維持をどのように実施していくのか。現状残しているツツジをどの程度整備するのが課題。

(3) 今後の取組方向

☒ 事業を現行どおり継続する

(今後の事業実施見込について記載)

来年度も同事業規模での林床整理伐及び遊歩道の傾斜地等の整備を行う。

☐ 事業内容を見直して継続する

(見直し内容及び今後の事業実施見込について記載)

☐ 事業を継続しない

(継続しない理由を記載)